

「SAM」ブランドの復活



Manjit Jus
Head of ESG Ratings

RobecoSAMの一部門であり、ESGのデータ、格付け、ベンチマーキングの提供を専門に扱うSAMの復活を、ぜひ温かく迎えてやってください。

ここに2019 Sustainability Yearbookをご提示できることを誇りに思います。今年はSAMブランドの下で発行しました。SAMは、CSA関連で連携する企業とともに、そしてそうした企業のために実施する、独自の活動を任されています。

CSAは20年前からずっと、企業のESGの実績を評価する手法をリードしてきました。その結果は今日、多くの形で利用されており、その最も顕著な例がSustainability YearbookとDow Jones Sustainability Indices (DJSI)です。

このようにS&P Dow Jones Indices (S&P DJI)がDJSIなどの十分確立された指標の算出にCSAの結果を利用していることこそが、SAMブランドを再登場させた主な理由でした。

現在SAMの下で実施しているのは、次の2つの専門的な事業分野です。

- **ESG Ratings** CSAを担当し、この評価を支える手法から年次データの収集、さらに各企業の評価とスコアリングまで行っており、そのデータをS&P DJIの指数算出用に提供しています。



Edoardo Gai
Head of ESG Benchmarking

- **ESG Benchmarking** (旧称「Sustainability Services」) CSAの結果やベストプラクティスとの比較によって、企業のサステナビリティ実績を評価する広範な独自のサービスを、企業や専門家、実務担当者に提供しています。

この動きは、これら2つの専門分野を企業との接点として区別するもので、企業のサステナビリティ実績を把握し改善するための不可欠なツールとしてのCSAの役割を向上させることになるでしょう。

SAMブランドの下でこれらの事業分野を実施することにより、その製品やサービスへの市場の関心の高まりを反映して、さらに際立った存在となります。また、S&P DJIがCSAの結果をさらに幅広く利用できるようにもなります。

さらにこの措置により、「欧州ベンチマーク規制」に沿って、RobecoSAMの資産管理事業との明快な区別と分離を行い、CSAプロセスの客観性を際立たせます。

SAMブランドの下で作成された本書は、多くの点で変更がない一方で、今日の情報消費者の絶えず変化するニーズにも適応しようと努めています。今年は初めて、Sustainability Yearbookの評価対象企業全てのパーセンタイル順位を公表しています。全評価対象企業のパーセンタイル順位は、yearbook.robecosam.comにて直接無料でご覧いただけます。

投資家をはじめとするステークホルダーがESGデータにアクセスしやすくすることで、企業と投資コミュニティ双方の情報開示、透明性、意思決定をさらに前進させることを、私たちは目指しています。